

第8回 マンション大規模修繕工事フォトコンテスト作品応募要項

【作品送付先】

●プリント：〒105-0003 東京都港区西新橋2-18-2 新橋NKKビル2階
 (一社)マンション計画修繕施工協会 フォトコンテスト係
 TEL：03-5777-2521

●データ：https://www.mks-as.net/topics_list30/
 上記のURLにアクセスのうえご応募ください。



【注意事項】

- 2016年以降に撮影された単写眞のプリント応募、又はWeb（データ）応募（組写眞は不可）。
- 応募作品は未発表のものに限ります。写真展や雑誌などでの公表、ホームページやSNSへ掲載した作品は応募できません。
- 応募・受賞作品の著作権は撮影者に帰属しますので、応募者本人が撮影した作品を本人名で応募してください。
- 極端な合成や加工を施した作品の応募はできません。（その他①参照）
- 肖像権には十分にご注意下さい。被写体が人物の場合、ご応募に際しては、必ずご本人（被写体）の承諾を得てください。また、被写体が未成年の場合は、親権者の承諾が必要です。
- 他人の著作権、肖像権などを侵害する行為が行われた場合は、主催者はそれに関するトラブルの責任は一切負いかねます。
- 主催者及び後援団体は、入賞作品を本コンテストの広報活動に必要な範囲（受賞作品や受賞歴などの紹介）で、新聞、雑誌、テレビ、ホームページなどで利用することがあります。場合により、若干のトリミングを行うことがあります。利用にあたっては撮影者の氏名表示を行います。
- 主催者は、応募・入賞作品を第三者に営利目的で利用させることはありません。本コンテストの広報活動以外で利用する場合には、撮影者に事前に目的、条件（有償、無償）を説明したうえで、許諾が得られたものについてのみ利用します。
- 入賞決定後に違反が判明した場合は、入賞を取り消す場合があります。
- 応募作品は、返却いたしません。

【応募方法】

- おひとり様何点でも無料でご応募いただけます。
- 応募後の辞退はできません。
- プリント応募：サイズ A4（六切り相当）以上、B4（ワイド四切り相当）以下
 下記の応募用紙に必要事項を記入し、写真の天地が判るように作品の裏側にセロハンテープで四隅をしっかりと貼り付けてください。
- データ応募：容量は1枚5MB以内に調整してください。（2MB以上推奨）
 ホームページの応募フォームに必要事項をご入力の上、送信ください。

【応募締切】 2022年5月9日

（プリント応募は当日消印有効）

【審査発表】

- 入賞作品は、2022年5月31日に主催者ホームページで発表します。入賞者には主催者より直接お電話、郵送にてお知らせします。
- 入賞作品は、原版（デジタルデータ）を提出していただきます。デジタルデータは返却しませんので、CD-Rなどにコピーして送付してください。
- 主催者が指定する提出期限までに原版的提出がない場合は、入賞を取り消す場合がありますので予めご承知おきください。
- 審査結果発表やその他のスケジュールは、都合により変更される場合があります。その際は、主催者ホームページでお知らせいたします。

【その他】

- 大規模修繕工事は、建設業法等を順守して実施されています。工事現場等の状況に誤解を招くおそれがあるため、極端な合成や加工（工事に関連する部分を削除したり、実際には存在しないものを追加したりするなど）を施した作品の応募は不可とします。ただし、トリミング、色やコントラストなどの調整は問題ありません。
- 応募時に提出いただいた個人情報は、入賞通知連絡などの主催者がコンテスト運営に必要な範囲で使用させていただきます。入賞者以外の個人情報は、審査終了後に主催者が責任を持って破棄いたします。入賞者の個人情報は主催者が管理し、入賞作品を使用させていただく際の連絡等に利用させていただきます。

一般社団法人マンション計画修繕施工協会ホームページ

<https://www.mks-as.net/>

マンションフォトコンテスト

※8キリトリ

天 ↑ 地	タイトル
フリガナ 名前	年齢 歳
住所 〒 都道府県 市郡	このフォトコンテストを 何で知りましたか? <input type="checkbox"/> (主催者チラシ/サイト) <input type="checkbox"/> (フォトコン) <input type="checkbox"/> (他雑誌) <input type="checkbox"/> (他Webサイト) <input type="checkbox"/> (クチコミ)
電話番号 ()	

応募されるテーマを○で囲んでください

- ①修繕工事現場の365日
 ②みんなで守る「現場の安全」
 ③ベテランさん、新人さん、外国人技能者さん
 ④修繕中のいつもの生活
 ⑤安心安全のマンション生活
 ⑥街角の修繕工事

応募作品は未発表または発表予定のないものに限ります。
 他のコンテストへの二重応募または疑似作品とみなされる作品は失格となります。

第8回 マンション大規模修繕工事 フォトコンテスト

応募枚数 枚のうち 枚目

カメラ
スマホ・ケータイ
機種名

【コメント欄】 応募作品を撮影した時の状況をお書きください

撮影地
都道府県 市

撮影時期
西暦 年 月

※黒ボールペンでご記入し、作品の裏にセロハンテープで貼ってください
 ※ノリ付けはおやめください

第8回 マンション 大規模修繕工事 フォトコンテスト

【作品募集期間】

2021年10月1日(金)～

2022年5月9日(日)

（プリント応募は当日消印有効）

第7回 国土交通大臣賞「帰り道」 中吉剛彦

テーマ

- 修繕工事現場の365日 春夏秋冬・朝昼晩・晴れの日・雨の日
- みんなで守る「現場の安全」 命を守る取組み
- ベテランさん、新人さん、外国人技能者さん 働く顔・チームワーク
- 修繕中のいつもの生活 家族、ペット、緑花 etc
- 安心安全のマンション生活 防犯・防災対策、コロナ対策 etc
- 街角の修繕工事 修繕工事中のマンションのある風景

賞

- 最優秀賞 国土交通大臣賞 1点(賞金10万円)
 特選 不動産・建設経済局長賞 1点(賞金5万円)
 特選 住宅局長賞 1点(賞金5万円)
 入選 10点(賞金1万円)

【審査委員】

- 審査委員長 田沼 武能 一般社団法人 日本写真著作権協会 会長
 審査委員 棚井 文雄 一般社団法人 日本写真作家協会 副会長
 大向 哲夫 一般社団法人 日本写真作家協会 会員
 国土交通省担当官
 坂倉 徹 一般社団法人 マンション計画修繕施工協会 会長

【結果発表】

2022年5月31日(火)

【表彰式】

国土交通大臣賞、局長賞受賞者を
 主催者総会にご招待し、表彰します。

【主催者・お問い合わせ先】

一般社団法人マンション計画修繕施工協会 (MKS) 〒105-0003 東京都港区西新橋2-18-2 新橋NKKビル2階
 TEL：03-5777-2521 FAX：03-5777-2522 https://www.mks-as.net/ Email：jimukyoku@mks-as.or.jp

【後援】

国土交通省／(独)都市再生機構／(公財)マンション管理センター／(一社)マンション管理業協会／
 (一社)日本マンション管理士会連合会／(一社)マンションリフォーム技術協会／
 NPO法人全国マンション管理組合連合会／(一社)住宅瑕疵担保責任保険協会／(一社)日本写真作家協会



第5回 入選「安全確保し慎重に」 伴博之

応募
無料

【協賛】

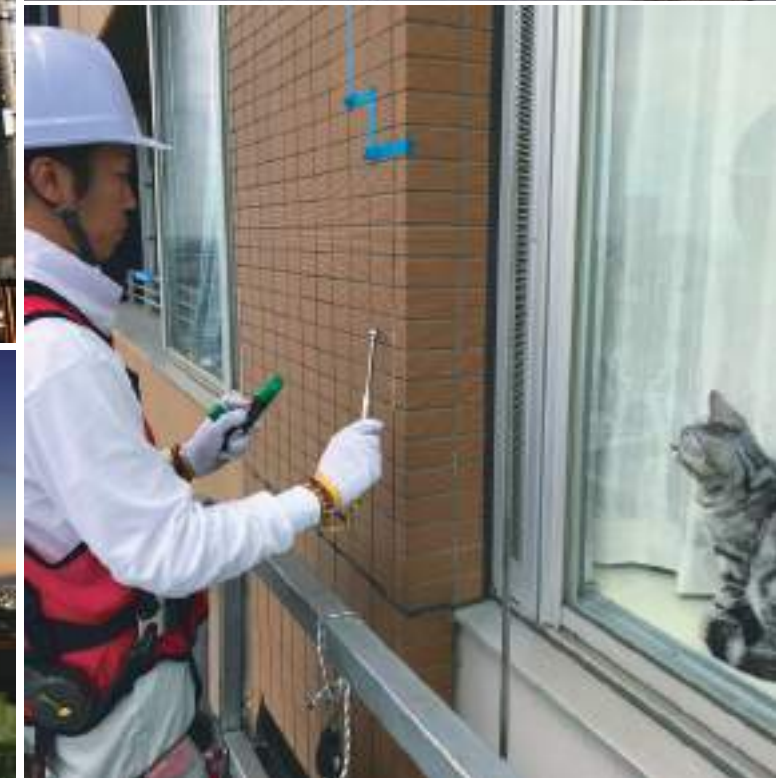
(株)ケンコー・トキナー



一般社団法人 マンション計画修繕施工協会

MKS（主催者）は、マンション大規模修繕工事を主たる事業としている専門工事業者の全国団体です。
 国土交通省の住宅リフォーム事業者団体登録制度における第1号登録団体として、大規模修繕工事に関する相談を受け付けております。
 ※大規模修繕工事には、国土交通省認可「大規模修繕工事のかし保険」を付保しましょう。





第8回 マンション 大規模修繕工事 フォトコンテスト

応募
無料



第5回審査会の様子

1	2	4
	3	5

1. 第3回 国土交通大臣賞
2. 第5回 土地・建設産業局長賞
3. 第2回 国土交通大臣賞
4. 第5回 入選
5. 第5回 住宅局長賞

「男たちの背中」 栗原雅子
 「電車も見ています。安全作業。」 八木進
 「黄昏の夜景」 磯貝光博
 「日々清掃もかかしません！」 西川三郎
 「気になるにゃん」 扇谷至

(一社) マンション計画修繕施工協会(以下、MKS)は、マンションの大規模修繕工事業者の全国団体。新築とは異なり、居住者がいつもの生活を続ける中で修繕工事は進められます。第8回の作品募集にあたり、審査委員の写真家・棚井文雄さん(以下、棚井)とMKSとの対談を行いました。

——募集テーマをしっかりと把握しよう

MKS 2014年からフォトコンテストを毎年主催しています。マンション居住者さんの共有財産となる外壁や屋上、給排水管や電気系統などの設備関連の機能を維持向上する工事がとても大切であることを知ってもらいたいと始めました。

棚井 審査委員を引き受けるにあたり、大規模修繕工事について詳しくは知りませんでした。

MKS (笑) 新築工事や土木工事の写真も毎年届きます。工事現場であれば応募できると思われているようです。初めての時は、どうして高速道路の工事現場の写真が届くの?とビックリしました(笑)。

棚井 フォトコンテストへの応募は、応募要項、募集テーマをしっかりと把握することが大切です。せっかくの素晴らしい作品でも、題材が、被写体が異なっていたら審査の対象から外れてしまう場合もあります。そうならしてしまったら残念ですね。工事の種類の違いの他に、主催者として注意していることはあり

ますか?

MKS 写っている現場、工事関係者の様子が建設業法に沿ったものであるかを確認しています。

棚井 そうなんです。その点について事前に少し学んでから撮影に挑むと、大規模修繕工事中の建物を違う目線で捉える、写すことができるかも知れませんね。

応募者の傾向はありますか?

MKS 修繕工事中のマンション居住者からのご応募は多いです。建築を勉強している、学校の写真部に所属しているという若い方が少しずつ増えてきました。また、毎年応募いただく常連さんもいらっしゃいます。

棚井 それは嬉しいですね。僕はストリートスナップを中心に撮影していますが、自分のテーマを持つと街の見え方がグッと違ってきます。定点観測のように一か所に留まるスタイルや、イメージしたシーンを求めて歩き回るスタイルもありますが、どちらも、日頃から広くアンテナを張っておくことが大切です。

MKS それは常連さんの応募作品を拝見すると分かります。現場の職人さんを被写体にされている方、修繕中のマンション周辺の街の様子をテーマにされている方など様々です。

——マナーを守り、安全を確保して撮影を

棚井 撮影における基本的なマナーを守りながら、撮り続けることが大切です。試行錯誤を繰り返すことで、自分が写すべきもの(スタイル)が見えてきます。そして、自分のシリーズを創り上げていくことが楽しくなるはずですよ。

MKS 規制といえば、撮影者はもちろんのこと、現場関係者や通行人の安全を確保しながら撮影していただきたいです。

棚井 もちろんそうですね。撮影者の振る舞いによっては、被写体の反応も変わってしまいます。

MKS このフォトコンテストがマンションの修繕工事と建設業界に関心を持つきっかけになれば嬉しいです。最後に、応募の際のアドバイスをお願いします。

棚井 募集テーマに沿った写真であることは勿論ですが、タイトルも気になることです。その被写体を通して何を伝えたいのか、タイトルで伝えることも重要です。しっかりと考えて決めて欲しいですね。繰り返しになりますが、撮り続けてください。たくさん撮ることで、自分が何を撮ればよいのか見えてくるはずですよ。

MKS ありがとうございます。